

「社会福祉協議会」は、みなさんの参加と
ささえあいで福祉のまちづくりをすすめる
民間の福祉団体です

No.126 2014. 1. 1

さむかわ

発行 社会福祉法人
寒川町社会福祉協議会
寒川町宮山 401 番地
寒川町健康管理センター内
電話 0467-74-7621
FAX 0467-74-5716
ホームページ
<http://www.t-samukawa.or.jp/~shakyo/>
E メールアドレス shakyo@t-samukawa.or.jp

この広報紙は皆さまからお納めいただいた一般会費および賛助会費と共同募金配分金により作成・発行しています。



謹賀新年

法人設立30周年の年明け



宮山(旭保育園付近)から眺める富士山

30年の歩みとともにさらなる飛躍を

戦後復興期の昭和28年、寒川町社会福祉協議会は発足しました。地域に根差した住民主体の支えあい活動を進めるこことを理念とし、少しずつ地域の方との信頼関係が築かれ活動の幅が広がっていく中で、昭和59年には社会福祉法人格の取得という大きな節目を迎えました。現在の社会福祉法人寒川町社会福祉協議会の誕生です。今年、30周年を迎えます。これからも地域の皆さんとともに歩んでいきたいと心から願っております。引き続きお力添えをどうぞよろしくお願い致します。



賀正

社会福祉法人寒川町社会福祉協議会
会長 藤井 孝

輝かしい新年を迎える、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

ご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。お蔭様にて、『地域のつながりプラン』の中間年も着実に事業展開をすることができました。

特に、子どもたちの豊かな心を育むための福祉協力校助成事業、地域における「つながりと支えあいづくり」に主体的に取り組む団体に対する住民の主体的活動助成事業、成年後見制度の法人による事業立ち上げ準備検討委員会の設置等々は当初の目的を達成できたと思つております。

本年は、法人設立三十周年を迎えるので、今まで以上に、皆さまに必要とされる町社協を目指して、役員・職員が一丸となって努力してまいりますので、一層のご支援をお願い申し上げます。

結びに、新しい年が皆さまにとりまして
素晴らしい年になりますようお祈り申し上げ
て、新年のあいさつとさせていただきます。

社協職員が寒川町内どこでも出向きます!



社協職員がご紹介できること…

- ・社会福祉協議会についてのお話
 - ・ボランティアについてのお話
 - ・社会福祉協議会が実施している各種事業のお話
 - ・車いす指導
 - ・認知症についてのお話(認知症センター養成講座)

お気軽にご相談ください
(連絡先は1面)



例えば…

「社員研修の場で認知症についての話を聞きたい」
「仲良しグループでボランティアを始めようと思うけど、手順を知りたい」
「自治会の防災訓練で車いすについて説明して欲しい」
「毎年払っている社協の一般会費の使い道について詳しく知りたい」

次の方々より、町社協へ
附をいただきました。地
域のため役立たせてく
る敬称は略させていただ
きます。ありがとうございました。
～平成25年12月9日

○徳永登喜雄

個人(コンパクトデジタルカメラ1台)

団体(合計) 283,795円及びベル

特集！ 福祉大会と福祉作文



第30回

寒川町社会福祉協議会 福祉大会

智美、浅野一秋、長谷恵美子

台風一過の晴天のもと、今年度の福祉大会は無事に開催の運びとなりました。来場者160名という盛会の中、第1部では「お笑いで福祉のまちづくり」をテーマに、落語家の笑福亭学光師匠にご講演いただきました。「ありがとうございました」という言葉の大切さ、介護予防になる替え歌、終わりには腹話術を交え、楽しく明るく笑いの声で、福祉の土台となる、相手を思いやり理解しようという気持ちの大切さを伝えてくださいました。続いて開催した2部では表彰式を行い、地域活動への貢献や福祉作文の優秀作文など、本会から感謝の気持ちを伝える場となりました。表彰者の方々をご紹介します。(順不同、敬称略)

1 表彰 ◇ 社会福祉功労者

川端とも子、佐藤律子、鈴木正、中山薰、西岡千鶴子、橋本照美、松本恵美子、湯山久代、石川澄子

2 感謝 ◇ 多額寄附者

旭ファイバーグラス労働組合、井出歯科医院患者さん有志、河西工業福祉協議会、寒川町労政問題懇話会、寒川ライオンズクラブ・寒河江臥龍ライオンズクラブ、JX日鉱日石金属労働組合倉見支部、フジ企画、村松商事株式会社、ヤザワミュージックアカデミー、南関東日立物流サービスまごころ基金、南関東日立物流サービス社友会

3

神奈川県社会福祉協議会会长表彰（伝達）
坂巻あゆみ、千葉郁美、井下田愛美、松本

4

神奈川県社会福祉大会受賞者（報告）

笛川静子、鷹巣明美、湯浅幸子、松井正司、亀山みゆき、栗田貴子、中瀬自治会、新町自治会、小動自治会、筒井自治会、県営寒川もくせいハイツ第二自治会、大蔵自治会

5

福祉作文優秀作品 ◇ 小学生の部

寺島新太、田賀千愛、斎藤ななみ、小川日和子、角綾香、鍋谷聖、古瀬真愛、古谷美唯菜、飯尾陸斗、木立百音、櫛田麻衣、北村駿人、桐谷希実、田中亜美、宮崎奈美

◇ 中学生の部

佐藤美鈴、金子涼太朗、須山成美、濱宮杏香、廣田佳香

本年度の福祉作文の概要

小・中学生の児童・生徒の皆さんを対象に毎年募集している福祉作文ですが、今年度は小学生229編、中学生32編の合計261編もの応募がありました。寄せられた作文は、おじいちゃんやおばあちゃんのこと、家族のこと、また日常生活や授業で感じたこと、体験したこと等が書かれており、「福祉とは何か」を正面から考えた作文ばかりでした。

選考は大変難儀しましたが、応募作文の中から小学生15編、中学生5編の合計20編の優秀作文が選ばれました。次ページからその一部を紹介します。



小学生の部

弟は家族の宝物

一之宮小学校六年 木立 百音
☆県福祉作文コンクール準優秀賞

私の弟は小学五年生です。私と同じ位で背が大きいです。でも、生まれつき脳の障害で人と話す事が出来ません。だから私や家族は、弟が何をしてほしいのか、何が言いたいのかを弟の気持ちになつて、わかつてあげられるように考えます。一生懸命に考えてもわからぬ時があります。弟は自分の気持ちが伝わらないと、怒つて八つ当たりをしてきます。そういう時は、わからなくてごめんねと思ひます。

普通の人には、遊園地や映画館などは楽しい所が弟には、とても恐ろしい場所に思えるみたいで、無理に入ろうとすると大泣きして暴れたり、パニックになります。でも経験する事は弟の成長に大事だから苦手を克服するため、お父さんが休みの日に、いろいろな所に連れて行つてくれます。博物館も最初怖くて入れなかつたけど、何回か行くといいに入れるようになりました。今では大好きにな場所になりました。同じ五年生の子より出で、何か一つ出来るようになつた時、家族はみんなで大喜びします。

弟は出かけるのが好きなので、私とお母さんと弟と三人で、電車やバスに乗つて出かけます。弟は嬉しくて、ピヨンピヨン跳ねたり、



信頼関係

旭小学校六年 宮崎 奈美

大きな声で笑つたりします。私達は弟が喜んでいるから嬉しいけれど、まわりの知らない人達は、変な目でジロジロ見たり、私達の席から移動する人もいます。何もしていなくて、意地悪な事を言われたりして、お母さんは家に帰つて、悲しくて悔しくてこつそり泣いていた時もあります。私も、とても悔しくて悲しかつたです。私の学校の友達は、みんな弟の事を分かつてくれていて、機嫌が悪い時はそつとしておいてくれて、につこりしている時はたくさん遊んでくれます。私は優しい友達がいて本当に良かつたと思います。

お母さんは、私や弟をいつも「お母さんの宝ものだよ」と言います。私にも弟は大事な宝物です。弟がいるからいつも頑張ろうと思えます。日本には弟のような障害について知らない人がたくさんいると思います。日本中の人々に弟や、弟と同じ障害の人の事を知つてもらつて、街で出会つた時は優しい目で見守つてほしいです。

私は大人になつてもずっと弟を守ろうと思ひます。

実際に車イスに乗り、おしてもらつてている時は、とても安心してリラックスすることもできた。また、段差を上がるときは不安になる気持ちもあつたけど、やつぱりふつうに乗つている時と同じで安心するのは、おしてくれる人が信頼できるからであると思つた。歩いている時と車イスに乗つてている時では感じの速さが違い、とてもおどろいた。だから自分がおす時は乗つてている人の気持ちを感じとりたい。そのためにも、常に相手に呼びかける事で安心できると分かりました。

次に目の不自由な方の話しを聞き、生活する中でとても役立つ道具があることを知りました。だから、こんな物があれば不便も減るので、もつと増えてほしいです。でも私は、話を聞いている中で、道具よりも信頼できる人がそばにいて声かけをしてくれた方が安心できるのだと強く思いました。

また、目の不自由な方の中で料理が趣味だと話していく、なぜそんなに好きでいるほど料理を続けていられるのかと疑問に思いました。他にも、行動や特技がおどろくものばかり

私は初めて「福祉」とは介護や障害者のことを指す言葉だと思いました。なので、あまり明るいイメージはありませんでした。また、学校での授業で福祉についての体験やお

話を聞くと知つて、高学年になると実際に体験することが増えたのでおどろきました。また、この体験や話で、どんな新しい事が得られるのかと期待していました。今までで知つた福祉に関する事が体験で、何か活かせたらいいなと思いました。

初めに、車イスについての説明を聞かせてもらいました。その内容はそれほど難しいことではありませんでした。どの説明も車イスに乗つている人のためであるということが分かりました。

りなので、私も「子どもだから」と理由づけをしないで行動していきたいと思いました。このような体験をして私は障害者の方に対し、明るく前向きなイメージをもつことができました。一般の方と変わらず生活をしていて、不自由な事があるからこそ、これからもっと楽しく明るく生きていこうと思える方達なのかと尊敬する気持ちに変わった気がします。これから障害者の方と限らず、困っている人がいたら、声をかけることを大切にしました。

寒川東中学校二年 金子涼太朗



中学生の部 独居老人

今、僕は中学校となり、部活動等で大変忙しくなってしまった為、最近では祖母が一人で、ひいおばあちゃんの家に行っています。久し振りにひいおばあちゃんの家に行くと、相変わらず庭はよく手入れされていて元気そですが、会う度にひいおばあちゃん、小さくなつたように感じ、一つ一つの動作がゆっくりになつていて気付かれます。

祖母が買いたい物や掃除の手伝い等をしに週に何度か行つてはいるようですが、一人で生活をしていることが大変そうで心配になり、色々と調べてみました。

ひとり暮らしをしている高齢者などを独居老人というそうで、高齢化社会の日本では全世帯数の約8%が65歳以上の独居者だそうです。独居老人の社会問題としては、孤独死の問題があり、様々な警備会社等から安否確認サービスが行われていて、緊急の事態には出動したり救急車の手配をしてくれるそうです。また、他の問題としては、独居老人が悪徳商法の被害にあうケースが頻発していく、次々商法や催眠商法、振り込め詐欺などの被害者となつてしまつていています。独居老人は、経済的、健康面での犯罪に巻き込まれても周囲に助けを求めるにくい傾向があるため、相談相手を持つことが大切だということが分かりました。

では、このようなリスクを伴う独居生活は避け、子供が住んでいる場所に呼ぶ「呼び寄せ老人」が一番良い方法なのでしょうか？この方法がうまくいくケースもあると思いますが、長年住み慣れた土地や家から離れるのは簡単なことではなく、新しい環境への適応能力が低くなつてている高齢者にとつては、大きな苦痛となつてしまうこともあるそうです。僕のひいおばあちゃんも家を大切にしているので離れることに抵抗感が強いようです。では、今後、ますます独居老人が増えると予想されている日本では、どのようにこれら問題をどう解決して行つたら良いでしょうか？独居老人をなくす方向ではなく、独居でも社会や人とたくさん関わりを持ちながら、いきいきと暮らすことのできる社会を作つていく事が大切なのだと思いました。福祉の先進国であるスウェーデンでは、どんな過疎地でもホームヘルパーが来てくれ、年老いても独り暮らしができる環境が整つているそうです。日本でもヘルパー制度があり、家事を手伝ってくれたり、身体機能が低下しないよう通所リハビリや通所介護、デイケアサービスなども行われていて、自治体によつては、介護保険の認定をとる前に介護予防の為のサービスを行つてはいる所もあるそうです。

僕のひいおばあちゃんも、最近週に2度のデイサービスに通い始めました。デイサービスに行つた日のひいおばあちゃんは、とつてもごきげんで、その日、一日のことを全てを電話でうれしそうに話してくれます。「おばあちゃん達の幼稚園みたいで楽しいよ」とか「お風呂にも入れてくれるんだって」と話す口調から今日一日がどれだけ充実したものだったのか知ることができ、改めて人は人の関わりがなくては生きて行かれないことを感じました。

小さい時から僕をかわいがってくれたひいおばあちゃんが、これからも生きがいを持つて元気に暮らせるように、僕も今まで以上にたくさん話し相手になりたいと思っています。そして、日本が高齢者に優しい国になつていいってほしいと思いました。



誰もが笑顔の社会に

寒川東中学校三年 廣田 佳香
☆県福祉作文コンクール佳作

私は、小学四年生の頃、幼なじみと一緒に買い物に出かけました。楽しく商品を見ていました突然、ドタッと物が落ちる音が聞こえました。ふり返って見ると、白い棒を持った三十代くらいの男性が商品を落としてしまつて方だとすぐわかりました。

「すいません。誰かいませんか?」

その声を聞いて周りを見わたすと私達、子供四人しかいませんでした。四人の中で最年長なので、私が答えなければと思いましたが、なぜか足音をたてず、その場から遠ざかってしまいました。遠くから男の人が手探りで一生懸命、商品を拾っている姿を見て私は、後でひどく後悔しました。

小学六年生の時、障害を持つとはどのようなことなのか体験する授業がありました。両手足には一キログラムの重りを付け、目はアイマスクでふさがれました。一本の手や足にたつた一キログラムと思いますが、普段通りに歩くことは抵抗があり、大変だったのが階

段でした。階段を一段上がるだけでいつもより体力を使い、これが毎日続くとなると疲れがたまるなと思いました。また、なにより不自由だったのが目が見えないことです。いつまつたり、考へている方向に向かつていなかつたりなどしました。目が見えないということは、ここまで大変な事なんだと思い知られました。この体験した時、私は思い出しました。あの目の見えない男性のことを、そして思いました。あの男の人はこんな真つ暗な世界で音や感触を頼りに、生活しているのだとうと私はあの男性に本当に悪いことをしてしまつたと思いました。誰もが見知らぬ人にいきなり、声をかけに行く時には勇氣が必要です。それ以上に、あの男性はどんな人に声をかけているのか見えていないことをしてしまつたと思いました。誰もが見知らぬ人にいきなり、声をかけに行く時には勇気が必要です。それ以上に、あの男性はどんな人に声をかけているのか見えていないことがあります。私にとつてほんのささいなことでも、悪い行為を踏みにじるよう、私は逃げ出してしまつたことにとても悲しくなりました。私があの時逃げ出さず、一言でも返事を出していればあの男性の役に立てたかもしれません。

私は、障害を持っている人が日々の生活で不便なことが起きないよう、健常者が障害者の力が足りない部分を協力して支えてあげられる社会ができればと思いました。もちろん、誰もが過ごしやすい施設を作ることも、すばらしいと思います。ですが、それよりも身近にいる人々が相手の役に立ちたいという心を持ち、行動できればもっと笑顔が生まれるのではないかでしょうか。私も、逃げてしまい後悔した気持ちを忘れず、誰かを助けていけたらと思います。今はまだ、その気持ちを持つている人が少しでも、近い将来、みんなが笑顔になれるそんな未来がきてほしいです。

「すいません。一番上の段の洗剤をとつていただけますか。」

ふり返ると、その人は車イスに乗っている足の不自由な人でした。車イスに乗っているせいで、高い所にあるほしい洗剤が取れなかつたのです。私は



催し物・相談等のご案内

～行事のお知らせなどをまとめて掲載します～
※申込み、お問い合わせ等、記載の無い場合は町社協へどうぞ。電話番号等は1面に記載しています。

地域福祉フォーラム2014

子どもとおとの心を結ぶ地域力
～ネット時代の地域活動、あらたな地域づくり～
日 時：1月25日(土) 午後1時30分～3時30分
場 所：寒川総合体育館 多目的室
内 容：石川結貴氏（ノンフィクション作家）による講演
対 象：町内在住・在勤・在学の方100名
申込み：1月17日(金)午後5時までに町社協へ電話かFAX、または直接
※一時保育（5人、要予約）あります。
※手話通訳が必要な方は申込み時にお知らせ下さい（要予約）。



心配ごと相談

～ひとりで悩まないでください～

悩みは誰にでもあるものです。共に考え、解決の糸口を探りましょう。
日 時：1月16日(木)、2月20日(木)
いずれも 9:00～14:00 ※要予約
場 所：町健康管理センター 3階 相談室
相談員：民生委員児童委員、弁護士
申込み：相談日の前日16時までに電話で予約。

1月は紙おむつ代助成の申請月です

☆寝たきり高齢者や心身障がい児者等の紙おむつ代を助成します。
※申請できる方には基準があります。

あらゆる相談お気軽に（無料）

行政 不動産 相続 心配事

(有)湘南総合事務所

代表取締役 斎藤恒雄
神奈川県登録第34621号 取引主任者

TEL 090-3108-3990

ふれあい・いきいきサロン「春」

～春風と一緒にハイキングに行こう♪～

日 時：3月23日(日) 午前10時～午後3時
場 所：町健康管理センターほか
内 容：町外へピクニック
対 象：町内在住の心身に障がいのある4歳以上の方 20名
持ち物：参加費100円、昼食、飲み物等
申込み：3月14日(金)までに町社協ボランティアセンターへ電話で（4面に連絡先）
※ボランティアとしてサロンのお手伝いをして下さる方、ご連絡をお待ちしております。



地域セミナー「食べる・耕す・つながる」

日 時：2月1日(土) 午後1時～4時30分
場 所：JAさがみ 茅ヶ崎支店 5階大会議室
内 容：基調講演とシンポジウム
「茅産茅消と障害者の就労支援について」
定 員：100名 申し込み制（先着）
主 催：社会福祉法人 翔の会 地域セミナー実行委員会
申込み：1月31日(金)までに電話かFAXで
電話 0467-54-5424
FAX 0467-54-5498

JA社協賛助会員募集中

（年額一口 3,000円）

地域福祉の推進にご賛同いただける町内外の企業、団体、個人の方

～皆さまのご理解とご協力を
お願い致します～



クルマスターなら、保障もサービスも掛金も、安心・充実！
必要な保障をムダなくそろえた、個人向けの自動車共済です。

3つの保障であなたのカーライフをしっかりサポート！

①ご自身とご家族の保障 ②相手方への保障 ③お車の保障

JAさがみ 寒川支店 TEL : 0467-75-6000

※ 詳しくは、お近くのJAにお問い合わせください。
倉見支店 TEL : 0467-74-3611 (NO.13141230149)



県内の子どもやお年寄り・障がいのある方たちを支援する団体・子育てをサポートする団体の活動資金など、さまざまな地域活動に活用されるとともに、災害時のボランティア活動にも役立てられます。

例年のポップコーン販売とあわせて、今年も宮城県南三陸町から取り寄せたわかれやお菓子、手作りキーホルダー等を販売しました。被災地の物産購入は身近に取り組める復興支援です。

本会では、南三陸町へのボランティアバス運行を通じ、町民の方々と一緒に支援を続けてきました。今後とも皆さまの継続的なご支援・ご協力をお願いいたします。

ここには、地域包括支援センターです！

～「よりそいノート」のご紹介～

神奈川県では、認知症の人やそのご家族の方が、安心して自分の住む地域で、医療と介護を隙間なく受けることができることを願い「よりそいノート」を作成しました。このノートを通じて、かかりつけ医や専門医療機関、地域包括支援センターや、ケアマネジャー、介護サービス事業所などによりいっそう連携し、適切な医療や介護を行うことができます。ノートを活用されたい方は担当のケアマネジャー、地域包括支援センターにご相談ください。

寒川町地域包括支援センター
電話 0467-72-1294 FAX 0467-72-5552

編集後記

あけましておめでとうございます。今年も、地域のつながりに役立つ内容をお伝えしてまいります。法人設立30周年の本年、より充実した広報誌へと飛躍できるよう頑張っていきます。今年も「社協さむかわ」をよろしくお願いいたします。

東日本大震災義援金受付状況

義援金の受付が平成26年3月31日まで延長されました。

引き続き、ご協力をよろしくお願いいたします。

皆さまのご協力ありがとうございます

平成25年12月1日現在

★賛助会費

1,079,000円

ボランティア活動事業をはじめとする町公社が行う地域福祉推進事業並びに福祉啓発事業等に使わせていただきます。

★赤い羽根共同募金

3,444,841円

県内の子どもやお年寄り・障がいのある方たちを支援する団体・子育てをサポートする団体の活動資金など、さまざまな地域活動に活用されるとともに、災害時のボランティア活動にも役立てられます。

★産業まつり

今年も南三陸町物産は完売

ボランティアセンターからこんにちは！

ボランティアしたい！頼みたい！を応援します

新年を迎えるました。今年もたくさんの方と出会えることを楽しみに、ボランティア活動のつなぎ役として、スタッフ一同力を合わせて頑張ります。皆さん、お気軽にボランティアセンターへお立ち寄りください。

＊ご参加ください＊

災害ボランティアコーディネーター養成講座 ☆実技編☆

まずは自分の命を守らねば人を助けられない！

今こそ、自宅内の安全空間づくりを！

日 時：2月11日(火・祝) 午前10時～午後3時

場 所：町健康管理センター

内 容：地震への備えを講演と実技で学びます

対 象：寒川町内在住の方 50名(先着順)

受講料：500円(材料費)

申込み：1月6日(月)午後1時からボランティアセンターへ電話かFAXまたは直接

ボランティア交流サロン

ボランティアってどんなことをしているのかしら…？ボランティアについての情報交換をしながら、楽しく交流しましょう！

日 時：3月8日(土) 午前10時～12時

場 所：町健康管理センター

対 象：町内在住・在勤・在学の方でボランティアに関心がある方 50名

参加費：無料

申込み：3月3日(月)までにボランティアセンターへ電話かFAXまたは直接

寒川町社協ボランティアセンター

平日 午前8時30分～午後5時15分

※年始の業務は1月6日(月)からです。

電話 0467-72-3721 / FAX 0467-74-5716

寒川町健康管理センター3階